

令和8年1月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和8年1月9日（金）午前11時00分～11時35分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ9社 15名

会見内容

1. 話題提供（1項目）

（はじめに）新年のあいさつ

- 皆さま、新年明けましておめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。今回は新年初の記者懇談会となります。記者クラブの皆さん、そして市民の皆さん、どうぞ今年一年もよろしくお願ひいたします。
- 昨年（2025年）6月には、豊かな当市の自然環境と調和がなされない太陽光発電施設の設置を望まない意思表明である「ノーモアメガソーラー宣言」を発信し、10月には、「釧路市自然と太陽光発電施設の調和に関する条例」が施行いたしました。
- また、昭和40年9月9日にカナダのバーナビー市と姉妹都市提携を結んでから60周年を迎えることを記念し、7月から9月にかけて相互訪問を行い両市の絆を改めて確認しました。さらに11月から12月にかけて、台北市私立景文高級中学と北陽高等学校が姉妹校の協定を結んだほか、友好交流協定を結んでいる花蓮市から公式訪問団が釧路市にお越しになるなど、海外各所との交流も深まったところであります。
- 防災分野では、7月末にカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報が発表、9月下旬には北海道で初となる「線状降水帯」が発生、12月にも「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されるなど、多くの市民の皆さんのが災害をより身近に実感した一年でございました。激甚化しているさまざまな災害に強いまちづくりの一環として、引き続き避難場所の確保や整備を進めてまいります。
- 新年におきましては、もう一歩ずつ「笑顔倍増計画」「世界展開戦略」「未来の人づくり」「行財政運営」にかかる取り組みを進め、市民の皆さんのが暮らしやすいまちづくり、また、行政組織の持続可能な環境づくりを目指し、市民と職員が一体となってこのまちの未来を築いていく市政運営を進めてまいります。
- 本年は60年に一度と言われる、丙午の年でございます。情熱や変化を象徴する年とされていますので、熱意をもって目まぐるしく変わる社会情勢へ柔軟に、発想に変化を加えながら市政運営に取り組んでまいりたいと考えております。本年も皆さんのが理解とご協力を願い申し上げ、年頭にあたっての挨拶とさせていただきます。

1 書かないワンストップ窓口の運用開始について

- それでは、市民サービスの向上に向けた新たな取り組みとして、「書かないワンストップ窓口」の運用開始についてご説明いたします。
- 「書かないワンストップ窓口」は、引っ越しや出生、婚姻などライフイベントに伴う市役所での各種手続きや住民票等の証明書を申請する際に、ご来庁された市民の皆さんの負担を減らし、円滑に完了していただくことや、窓口業務の効率化を図ることを目的として、令和8年2月2日から運用を開始します。
- これまで住民票や戸籍等の証明書発行の申請や住民異動に関連する手続きでは、手続きごとに申請書や届出書を提出する必要があり、同じ住所や氏名などを複数の書類に繰り返し記入いただく場面がありました。
- 今回の「書かないワンストップ窓口」では、職員がご用件を伺い、職員側で情報を確認・

入力し、申請書や届出書を出力します。市民の皆さんには、申請書や届出書の内容をご確認いただき、記入は署名のみとなります。市民の皆さんには、「書く」よりも「確認する」ことに時間を使っていただき、職員と一緒に受付を進めるといったイメージとなります。

- また、引っ越しや出生、婚姻などのライフイベントに伴う手続きでは、これまで戸籍住民課窓口での届出後、世帯の状況に応じ、各課の窓口を回って手続きを行っていただく必要がございました。「書かないワンストップ窓口」では、戸籍住民課の窓口で受付できるものは、ワンストップでまとめて手続きをすることになるため、複数の窓口を回る手間が軽減されます。
- なお、ワンストップの対象となる手続きは、国民健康保険の住所変更手続きや児童手当、年金、後期高齢者医療、子ども医療費助成、小・中学校の転校手続きのうち14業務から始め、運用状況を見ながら対象業務を拡大していきたいと考えております。
- 運用開始後は、市民の皆さまの声や、待ち時間・処理時間などの状況を検証し、運用の改善を図り、さらなる市民サービスの向上に努めてまいります。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ ワンストップ窓口について、道内で何例ほど実施されているか把握されていますか。
(戸籍住民課)
- ・ 先進地である北見市が取り組みを行っており、同様のシステムを導入しているのが恵庭市、岩見沢市、滝川市と伺っております。

(質問)

- ・ 今年度、ワンストップ窓口にかかる予算が6,000万円計上されていますが、実際に事業費はどの程度かかったか、また、釧根地域で初めて運用されるという認識でよろしいでしょうか。

(戸籍住民課)

- ・ 現在、全ての事業は完了していませんが、システム導入に係る委託費の契約金額は4,158万円となっております。
- ・ 釧根地域では初めての運用となります。

(質問)

- ・ 政府は2026年度に防災庁を設立しようとしていますが、これに伴い全国に2か所の地方拠点を設ける話が出ていますが、青森県八戸市が誘致を表明しており、巨大地震の発生が逼迫しているこの地域において、釧路市は誘致の考えがあるか、ある場合、ない場合、どちらであっても理由を含めてご説明ください。

(市長)

- ・ 釧路市は北海道が令和4年に公表した被害想定において、約84,000人、全道の死者数の約8割と、道内最多の死者数が想定されている地域です。
- ・ 先日、閣議決定された防災立国に関する基本方針には、防災庁の役割として「平時における徹底的な事前防災の推進・加速」や「発災時から復旧・復興までの災害対応」の司令塔としての役割が明記されていたことから、前述した最も被害が大きい地域にこそ防災庁の地域拠点設置がふさわしいと考えており、誘致に向けて前向きに検討していきたいと考えております。

(質問)

- ・ 前向きに検討される中で、設置に向けては国の指示があると思いますが、釧路市として

はどのような施設を目指していきたいかお聞かせください。

(市長)

- ・ 拠点施設の概要については、設置が決定したのち、国と協議を進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 前向きなお考えを表明、発表されるのは、いつ頃を予定しているでしょうか。

(市長)

- ・ まずは関係省庁や管内も関係してくると思いますので、そういう調整を踏まえて進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 市役所内での誘致に向けた動きは、現在、どのような段階にありますか。

(市長)

- ・ この質問をされる以前から検討してきております。

- ・ やはり被害想定が全国一といった中で、ここに置くべきということを要望書として、しつかりまとめていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 市に防災庁舎がある中で、大規模災害時の地方拠点施設を誘致できた場合、現存する防災庁舎との連携などは想定されていますか。

(市長)

- ・ 防災庁舎だけでなく、市全体と連携していくますが、防災庁の地域拠点の役割としては、東側と西側に一つずつということなので、全体を見ていく形になると思います。

- ・ 北海道、他の管内や市町村との連携もあるでしょうし、そういう機能については、まだ詳しくはお話しできないところでございます。

(質問)

- ・ 1月3日にホッキョクグマの「マルル」が釧路市動物園で一般公開されました。

- ・ 温暖化による生息地の減少やワシントン条約で海外からの導入も難しくなっていることから、全国的にホッキョクグマの飼育頭数が減少しています。

- ・ 市として今後、ホッキョクグマの繁殖に向けて、どのような取り組みを行っていくお考えでしょうか。

(市長)

- ・ ホッキョクグマの導入および移動については、国内における繁殖状況や年齢構成、性別のバランスなどを総合的に考慮したうえで、公益社団法人日本動物園水族館協会のもと、ホッキョクグマ種別管理者が国内飼育個体全体を調整した結果に基づき決定されるものであり、この度の「マルル」導入につきましては、ホッキョクグマの生態や行動を間近で観察し、学んでいただくことを目的とした教育普及展示となっております。

- ・ そのため、現時点では、ホッキョクグマ「マルル」の繁殖に向けた取り組みを行っていくことはなく、今後の繁殖等につきましても、同様の枠組みの中で判断されるものでございます。

- ・ 「マルル」は、熊本で長きにわたり愛された個体です。釧路市動物園でも、市民をはじめ、たくさんの方々に愛していただけるよう大切に飼育してまいります。

(質問)

- ・ 先日、北見市で水道の給水区域縮小が検討されていると報道があり、釧路市も同様に給水区域が広大だと思いますが、近年、住宅新築などで配水管を延長した事例はどのくらいあったか、また、これまで給水区域縮小について検討したことはあるかお聞かせください。

(市長)

- ・ 釧路市では、住宅新築などのために水道管を延長した事例は、近年ではございません。20年程度の実績でございます。
- ・ 給水区域内における現状の市街地では、水道管整備は概ね終了しているため、新しく住宅などを新築する際には、原則、整備済である直近の水道管より給水していただくことになります。
- ・ 給水区域の縮小については、現状では検討段階にございません。

(質問)

- ・ 釧路短大の公立化に向けて、釧路管内の首長に費用負担を含めて説明に回るとの答弁を12月の議会でされていましたが、年末年始と時間が経った中で、どのような説明を個別訪問または一堂に会して行い、どの程度進んでいるか、また、手応えやどのような理解を得られたかも含めてお聞かせください。

(市長)

- ・ 12月議会終了後、管内の各首長とお話をさせていただきましたが、その内容や手応えについては、現段階ではコメントを差し控えさせていただきます。

(質問)

- ・ 緑ヶ岡学園理事長の蝦名大也氏がお亡くなりになりましたが、今後、学園との話し合いなどはどのように考えていますか。

(市長)

- ・ 非常に大きな功績を残された方がお亡くなりになったと思っております。心からご冥福をお祈り申し上げます。
- ・ 緑ヶ岡学園とのお話し合いですけども、事務レベルでの話し合いは進んでおりました。
- ・ 最終的にお話し合いをする予定でございましたけども、このようなことがございましたので、今後のことについては、再度検討していきます。

(質問)

- ・ 北海道教育大学が2028年度に函館校の教員養成機能を縮小して、道央圏に機能を集約する検討をされていると報道がありました。
- ・ 昨日、函館市の大泉市長が本部に行かれて、機能維持を要請されたと伺っております。
- ・ 釧路も釧教大がありまして、他人ごとではないと思いますが、改めて今回の道教大の縮小を検討している動きに関して、市長はどのように見ておられるかお聞かせください。
- ・ また、今後、道教大の拠点があります函館市、旭川市、岩見沢市と連携をするお考えがあるかお聞かせください。

(市長)

- ・ 取材に基づく報道であったと認識しておりますけども、現時点ではコメントは差し控えさせていただきます。

(質問)

- ・ 函館市、旭川市、岩見沢市から連携を呼びかけるようなお話はあったでしょうか。

(市長)

- ・ この点については、今後、検討していく可能性はあると考えております。

(質問)

- ・ 市長は年頭の新年交礼会や仕事始式で市民サービスの削減、低下を示唆する発言をされていたと思いますが、現在、事務事業の見直しを進める中で、市長の頭の中で具体的にどのような市民サービスの低下につながる事例を考えているか、12月議会ではk-Bizの話

などが出ましたが、現時点でどこまで検討されているかお聞かせください。

(市長)

- ・ 議会に項目を示させていただいているが、公共施設などの使用料・手数料の見直し、各種行政サービスにおける自己負担額の見直しなど、多岐にわたって検討しております。

(質問)

- ・ 来年度に関しては、市民サービスの低下につながるものは必要最低限で、来年度以降にそういうものが具体的に示されていくという理解でよろしいでしょうか。

(市長)

- ・ スケジュール的には今年度も含め内部での事業の見直しを行い、なるべく市民サービスに関わらないところを先に見直しさせていただいている。

- ・ 現在、使用料や手数料の見直しも検討しておりますので、令和9年度からはこの部分も含まれてくると考えております。

(質問)

- ・ 政府のメガソーラー対策パッケージが年末に決まりましたが、それに対しての受け止めと、対策パッケージの中で釧路湿原国立公園の拡張を2026年度中に目指すとなっておりますが、市としてどのような作業が行われるかお聞かせください。

(市長)

- ・ 関係省庁の皆さんには、このような短期間で太陽光発電事業に関する対策パッケージを策定いただいたことに、心から感謝を申し上げます。

- ・ 対策パッケージには、これまで釧路市が要望していた内容もくみ取っていただいたものを感じております。

- ・ これにより、太陽光発電施設の適切な導入が図られることを期待しておりますので、釧路市といたしましても、国から示される方針等に沿って、さまざまな取り組みを行ってまいりたいと考えております。

- ・ 釧路市にとって釧路湿原国立公園の区域拡張は、我々が直面している自然環境が豊かな場所への太陽光パネルの設置を抑制する効果が見込まれるものであるとともに、釧路市が守り継いでいく必要がある雄大で豊かな自然環境の保全が図られるものであると考えておりますし、大変大きな効果があるものと考えております。

- ・ 今後、国から拡張する場所が示されると思います。その拡張する場所について、国から市に意見が求められる予定であるとも聞いております。

- ・ 地域との調整など、拡張にあたっての作業につきましては、国に協力させていただく考えです。

(質問)

- ・ 本日午後に環境省の青山副大臣がこちらに来られて市長と面会され、政策パッケージや国立公園拡張に関してのお話をされると思いますが、改めて市長として国に対しての要望など、どのようなことを訴えたいかお聞かせください。

(市長)

- ・ 我々が太陽光発電事業に関して抱えている問題に対して、省庁連携でこのようにスピード感をもって対策パッケージを策定していただいたことに、まずもって感謝を申し上げたいと思っております。

- ・ 対策パッケージは、これまで市が要望していた内容もくみ取っていただいております。

- ・ これにより太陽光施設の適切な導入が図られることを期待しておりますので、これからの方針に対して、市がさまざまな取り組みを行っていくことを、副大臣と具体的に話が出来たらと思っております。

(質問)

- ・ 昨年末、日本エコロジーに対して文書を出されたと思いますが、年末の会見では回答がなかったとお聞きしましたが、改めて回答があったか確認させてください。

(市長)

- ・ 昨晩、メールが送られてきており、今朝ほど事業者からの回答が添付されたメールの受信を確認しました。
- ・ まだ概要しか把握しておりませんけれども、これまでの主張が繰り返し述べられているものであると認識しております。
- ・ これより内容を精査してまいりますが、法令遵守など、そういうものを事業者と話し合っていきたいと思っております。

(質問)

- ・ 特に新しい内容はなく、従前どおりの説明がされていた、タンチョウなど、先方が考えている必要な事前調査は行っているという主張が、改めてメールに記載されていたという理解でよろしいですか。

(市長)

- ・ 内容等については、これから精査いたしますが、返答が必要なものなどは検討したいと思います。

(質問)

- ・ 市長宛てに回答があったという理解でよろしいですか。

(博物館)

- ・ 文書の宛名は、釧路市長と釧路市教育委員会教育長並びに博物館長宛て、ほか関係各課となっております。

(質問)

- ・ 13日から北斗の土地でボーリング調査が始まられる予定と思います。北海道知事も視察に訪れたいと発言されていますが、知事視察の日程調整や視察の際の市長との面会予定など、そういう連絡は北海道から来ているでしょうか。

(市長)

- ・ 新聞記事による内容把握だけで、今現在、連絡は来ておりません。

(質問)

- ・ 釧路短大の件について、議会後の管内とのお話し合いの内容はコメントを控えるということですが、これまでの説明では、新年度に設置者変更の届け出をするためには、管内や市の条例変更と事務組合の定款変更があると思います。

- ・ タイムスケジュール的に迫ってきていると思いますので、見通しはどのように考えておられるかお聞かせください。

(市長)

- ・ 手続き上のリミットもありますので、今月中または来月初めには判断しないといけないと思っており、これから関係する皆さんともお話をていきます。